

平成28年11月17日  
 東日本高速道路株式会社  
 北海道支社

**冬用タイヤでも油断は禁物です！**  
 ～ 冬用タイヤ装着状況調査の結果を公表します(第4弾) ～

NEXCO東日本北海道支社(札幌市厚別区)は、高速道路における冬用タイヤの装着状況調査結果をお知らせします。全道的に積雪が観測されており、当社の調査でも全調査箇所における冬用タイヤの装着率が90%以上となりました。まだ冬用タイヤを装着されていない方はタイヤ交換を急いでください。

今年は降雪が早かったことから昨年よりも早く冬用タイヤ装着率が高くなりました。

しかしながら、冬用タイヤを装着しても油断は禁物です。冬期は事故が夏期の**約2倍発生しています**。スピード、車間距離、ハンドル操作に気を付けて、安全運転をお願いします。

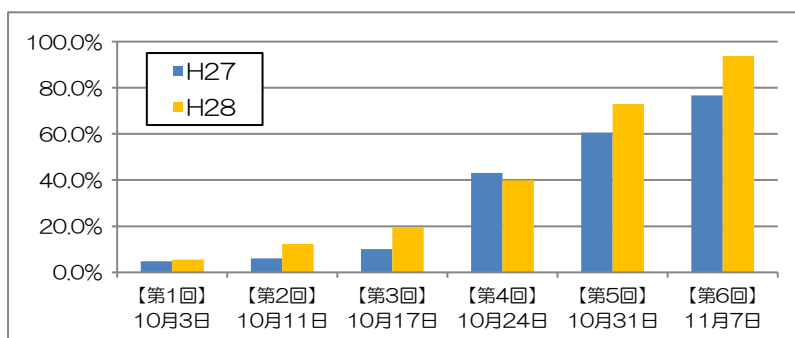
本調査は装着率が80%程度になるまで実施する予定としておりましたので、今回の公表をもちまして終了します。

●調査結果

調査箇所(※)		調査日/冬用タイヤ装着率		
		【第6回】 11月7日	【第7回】 11月14日	【昨年(H27)調査】 11月9日
道央道	大沼公園 IC 付近市街地	90.3%	調査完了	64.9%
	室蘭 IC 付近市街地	61.2%	100%	71.9%
	苫小牧東 IC 付近市街地	100%	調査完了	72.1%
	北広島 IC 付近市街地	90.6%	調査完了	調査完了
	岩見沢 IC 付近市街地	100%	調査完了	調査完了
	旭川鷹栖 IC 付近市街地	100%	調査完了	調査完了
札幌道	朝里 IC 付近市街地	99.2%	調査完了	81.6%
道東道	音更帯広 IC 付近市街地	98.8%	調査完了	調査完了
	十勝清水 IC 付近市街地	100%	調査完了	88.5%
全体		93.8%	-	76.7%

※調査場所は、各インターチェンジ(IC)付近の商業施設等の駐車場で実施しています。

★道央道 室蘭 IC 付近市街地については、11月7日時点の調査結果が他調査箇所に比べ低かったため、11月14日に追加調査を実施しました。



●NEXCO東日本北海道支社からのお願い

・『雪道での運転はスピード控えめ安全運転』をお願いします。【参考資料1】

シーズン初めの雪道は、雪道運転の感覚が戻っていないので、冬用タイヤを装着していても、車間距離を十分取ってスピードを控えめに。急ハンドル、急ブレーキなどの操作は行わず、安全運転をお願いします。

・『お出かけ前もお出かけ中もこまめな情報収集』をお願いします。

冬の高速道路は天候が急変します。お出かけ前はもちろん、お出かけ中も道路情報や気象情報などの情報をこまめに確認し、ゆとりある運転をお願いします。

NEXCO東日本の情報サイト『ドラぷら』では、渋滞予測や冬の高速道路講座などの情報を適用しています。また、『ドライブトラフィック(ドラとら)』では高速道路の気象(雪道)予測や路面状況(雪道ライブカメラ)の情報を提供しております。

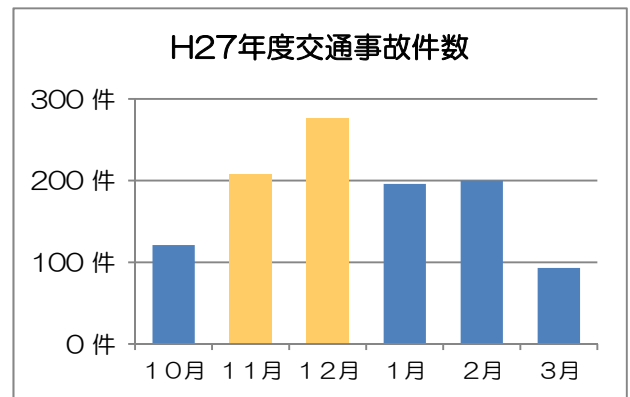
※ドラぷらアドレス <http://www.driveplaza.com>

※ドラとらアドレス <http://www.drivetraffic.jp>

【参考資料】

### ●初冬期は事故が多発！

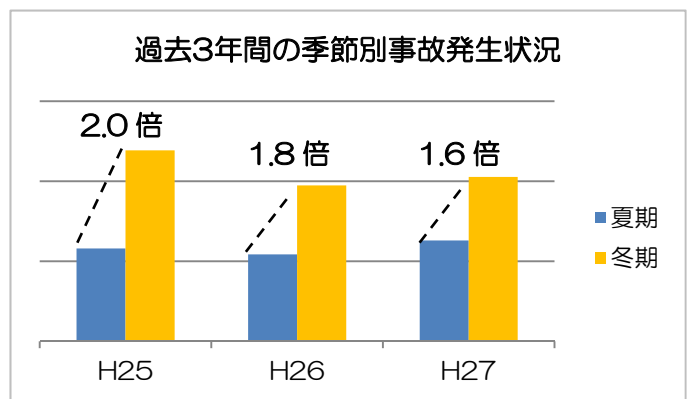
夏道運転の感覚で運転したり、冬用タイヤ未装着により初冬期は事故が一時的に増加します。



H27 年度交通事故件数(NEXCO 東日本調べ)

### ●北海道では冬期の事故が夏期の約2倍発生！

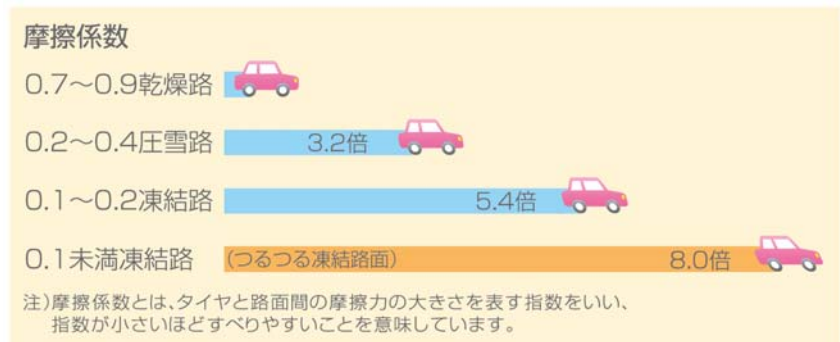
北海道では冬期(11月～翌4月)の事故件数が、夏期(5月～10月)の事故件数の約1.6～2倍に上ります。



H25～H27 年度交通事故件数(NEXCO 東日本調べ)

### ●滑りやすさはこんなに違う！

雪道は道路(路面)自体が滑りやすくなります。



注)摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指数が小さいほどすべりやすいことを意味しています。

滑りやすい路面状況((一社)日本自動車タイヤ協会調べ)

お問い合わせ先

【報道関係者専用】 広報課 Tel. 011-896-5238

【お客さま窓口】 NEXCO東日本お客さまセンター Tel. 0570-024-024

PHS・IP電話のお客さま Tel. 03-5338-7524

本資料については、道政記者クラブ、北海道経済記者クラブ、北海道建設記者会にお配りしています。